

上尾市消防士採用 PR 動画 テキスト版

消防総務課の業務内容は、予算や人事、職員研修や表彰事務、市民向けのイベントの企画、庁舎の維持管理、消防団の事務、公務災害の事務や職員の被服、給与品の管理、消防音楽隊の事務など、多岐にわたります。やりがいを感じる時は、デスクワーク主体の毎日勤務となり、災害現場に出動することはほとんどありませんが、火災や救急など多様化する災害に、24 時間体制で立ち向かっている現場の職員や消防団員の「縁の下の力持ち」であるという信念で、仕事に励んでいます。少しでも職員の力になれた時はとてもやりがいを感じます。

警防課というところは、警防担当と、救急担当に分かれています。警防担当は、消防車両の作成や管理、消防水利の設置や管理を行っています。救急担当は、病院のドクターなどとコンタクトをとり、活動の調整をしたり、救急隊員の研修、実習の調整を行っています。警防課は現場の隊員がスムーズに活動ができるように裏方の仕事をしています。近年全国的に救急件数の増加や、毎年のように自然災害が発生しています。一人でも多くの命を救える、災害に強いまち「あげお」を目指し、努力していきたいと思えます。

予防課の業務内容は、火災を未然に防ぎ、火災を起こさない建物や環境を整えるために、消防法等に基づき、立入検査や行政指導を実施しています。また、火災原因の調査や報告書の作成、地域住民に防火・防災意識の啓発活動などが主な仕事です。現場業務と比較すると、地味で地道な業務に見えますけれども、とても重要な役割を担っています。やりがいを感じる時は、窓口業務や検査時など様々な場面で多くの人と接する機会があり、相談などもあります。頼りにしてくれたときにすごくやりがいを感じます。頼っていただいたからには真剣に向き合い、信頼関係を築いていきたいと意欲が湧きます。

指令課の業務内容は、発生した災害の 119 番通報を受信し、その災害に対して必要な車両を出動させるとともに、災害に必要な情報等を収集し出動隊へ伝えることにより、円滑な現場活動をサポートしています。やりがいを感じる時は、慌てている通報者に落ち着いていただき、的確な情報をいち早く取得できたときに、達成感や充実感を感じます。

警防隊の業務内容は、火災現場や救助現場、救急現場で安全・確実・迅速な対応をするための訓練や、未然に災害を防ぐために、市民の方々へ行う通報・避難・消火訓練の指導や、救急法や AED の取り扱い方法などの救急指導を実施します。また、有事の際に使用する消防水利の点検や、防火対象物の立入検査、火災調査も行います。やりがいを感じる時は、訓練で繰り返し行ってきたことが、実際の現場で発揮できたときに、日々の地道な訓練の成果がでたのだとやりがいを感じます。

救助隊の業務内容は、多様化する災害への対応と、その日々の訓練や体力錬成を行います。災害出動後は様々な報告書などの事務処理、消火栓や防火水槽などの調査、さらに市内の建物の立入検査等を行います。やりがいを感じる時は、災害は一人では限界があります。一人では立ち向かえない災害に対し、同じ隊の仲間と協力し火勢を鎮圧したり、助けを求めている人に対し、救出することができたときはとてもやりがいを感じます。

救急隊は、急病人や怪我人が発生した際に、救急車でいち早く現場に駆けつけ、いち早く適切な処置をし、適切な医療機関へ搬送をします。帰ってからは、現場活動のフィードバックや事務処理を行います。出動の合間に隊の活動訓練や、救命処置の個人訓練などを行っています。やりがいを感じるのは、傷病者の方に「女性の隊員がいて安心したよ。」と言われたときです。

こんにちは、上尾市消防長の田島です。新型コロナウイルスの影響で不安な日々をお過ごしのことと存じます。その中で我々消防は、常に最悪の事態を想定し行動しています。その命の危険を伴う任務を成り立たせているのが、お互いの信頼感です。百折不撓という言葉があります。どんな困難にも屈しない。百ぺん倒れたら百ぺん立ち上がる。みなさんもこの思いで、この苦境を克服しましょう。上尾消防はあなたを待っています。